



FOR SAFETY FOR SOCIETY

**JESCO 48期 (2017年8月期) 決算説明会資料**

**JESCOホールディングス株式会社 [1434・東2]**

---

I. 会社概要 2

---

II. 事業内容 6

---

III. 当社の強み 12

---

IV. 2017年8月期決算と2018年8月期計画 18

---

V. 成長戦略 27

---

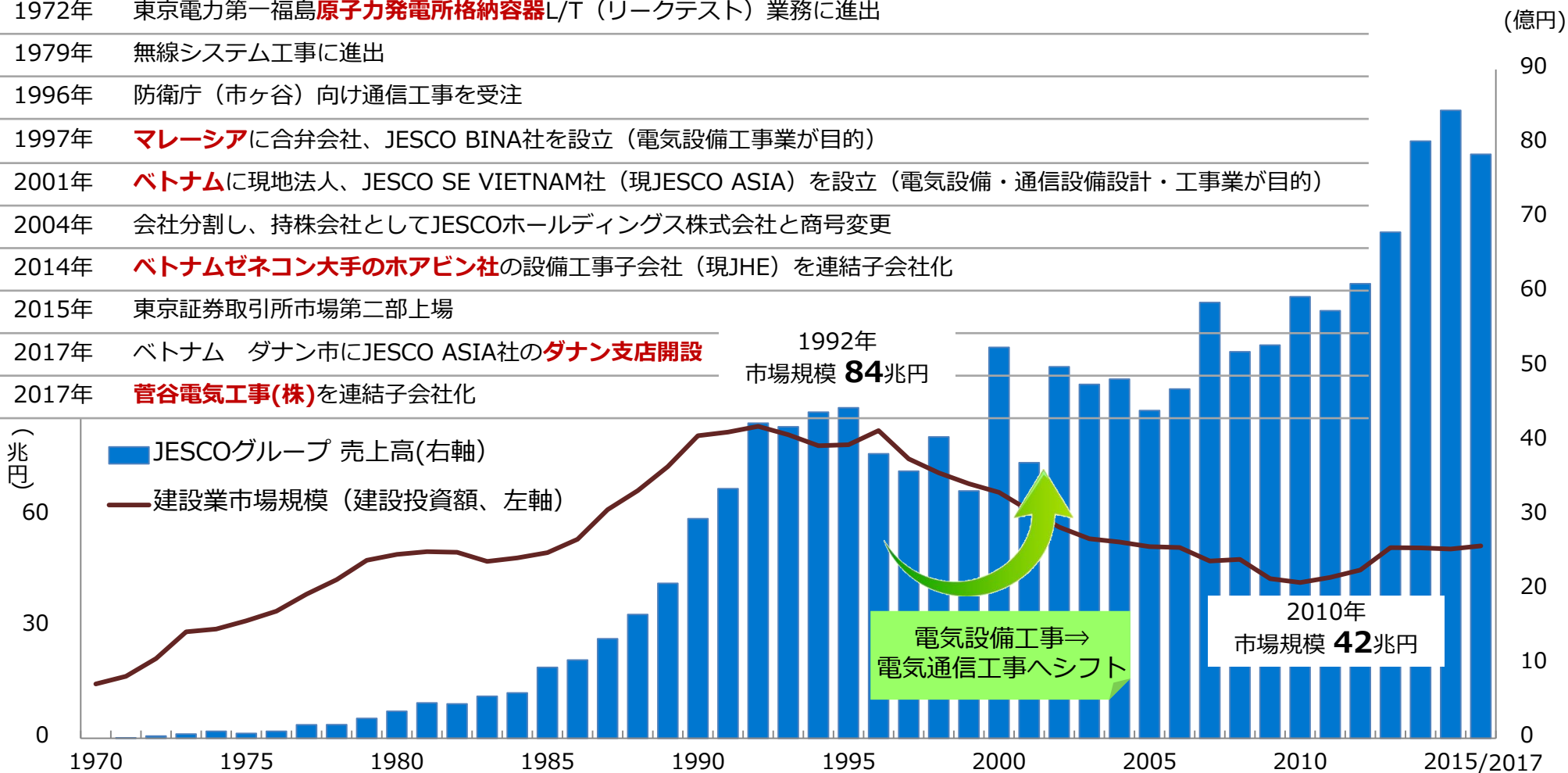
# I. 会社概要

## ◆ 創業47年の電気設備工事・電気通信工事会社

会社名	JESCOホールディングス株式会社
所在地	東京都新宿区北新宿2丁目21番1号 新宿フロントタワー23階
事業内容	電気設備工事、電気通信工事の設計・施工、保守/メンテナンスなど
代表者	代表取締役会長 兼 CEO 松本 俊洋 (まつもと としひろ) 代表取締役社長 執行役員社長 唐澤 光子 (からさわ みつこ)
設立	1970年8月21日
資本金	925百万円 (2017年8月31日現在)
連結子会社	JESCO CNS(株) 菅谷電気工事(株) (2017年10月2日より) JESCO ASIA JOINT STOCK COMPANY JESCO HOA BINH ENGINEERING JOINT STOCK COMPANY (JHE)
従業員数	連結 : 538名 / 単体 : 25名 (2017年8月31日現在)

## ◆ 電気通信工事へシフトし、持続的な成長を実現

- 1970年 東京都西東京市（旧保谷市）にジェスコ株式会社設立
- 1972年 東京電力第一福島原子力発電所格納容器L/T（リークテスト）業務に進出
- 1979年 無線システム工事に進出
- 1996年 防衛庁（市ヶ谷）向け通信工事を受注
- 1997年 **マレーシア**に合併会社、JESCO BINA社を設立（電気設備工事業が目的）
- 2001年 **ベトナム**に現地法人、JESCO SE VIETNAM社（現JESCO ASIA）を設立（電気設備・通信設備設計・工事業が目的）
- 2004年 会社分割し、持株会社としてJESCOホールディングス株式会社と商号変更
- 2014年 **ベトナムゼネコン大手のホアビン社**の設備工事子会社（現JHE）を連結子会社化
- 2015年 東京証券取引所市場第二部上場
- 2017年 ベトナム ダナン市にJESCO ASIA社の**ダナン支店開設**
- 2017年 **菅谷電気工事(株)**を連結子会社化



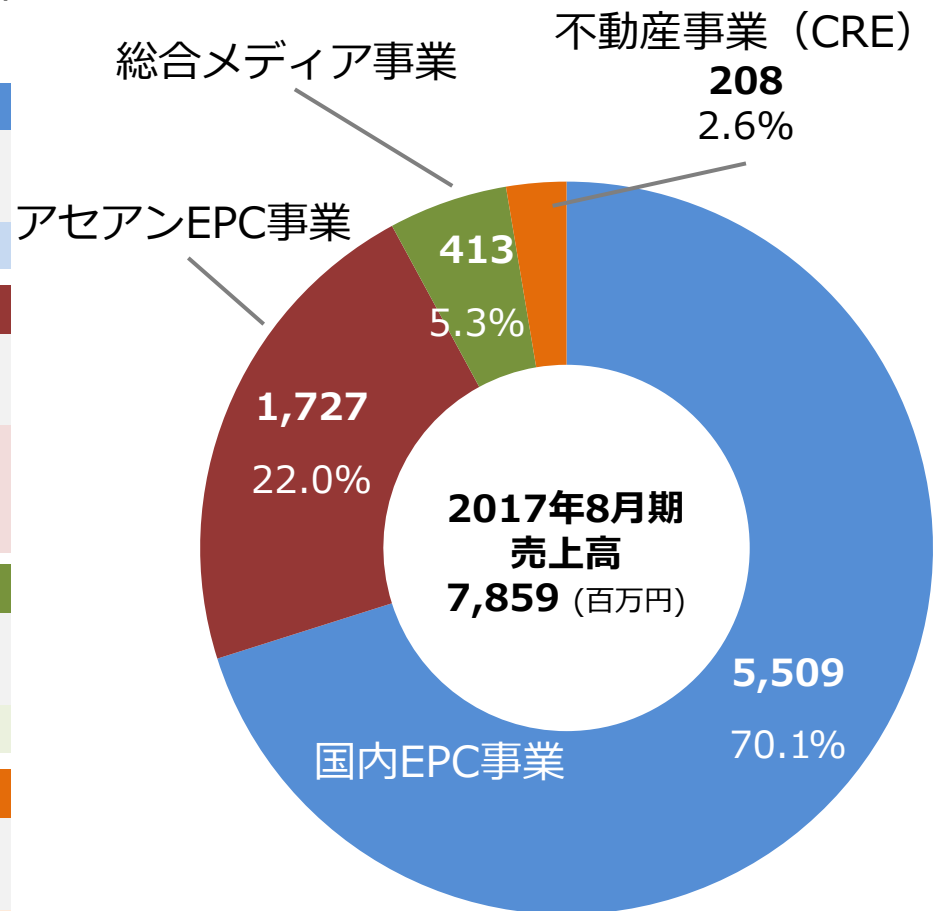
## ◆ 国内EPC<sup>(\*)</sup>、アセアンEPC、総合メディア、不動産 (CRE) 事業を展開

(\*) Engineering(設計), Procurement(調達), Construction(建設)の略

当社  
(持株会社)

国内EPC事業		
電気設備工事、電気通信工事の設計・施工、保守/メンテナンス		
JESCO CNS(株)、菅谷電気工事(株)		
アセアンEPC事業		
電気設備工事、空調・給排水工事、電気通信工事の設計・施工、保守/メンテナンス		
JESCO ASIA JOINT STOCK COMPANY		
JESCO HOA BINH ENGINEERING JOINT STOCK COMPANY (JHE)		
総合メディア事業		
大型ビジョン (自社保有) の放映枠提供、大型ビジョン (他社保有) の設置		
JESCO CNS(株)		
不動産 (CRE) 事業		
自社ビルの賃貸・運用・管理		
当社		

上段：セグメント分類／中段：事業内容／下段：子会社名



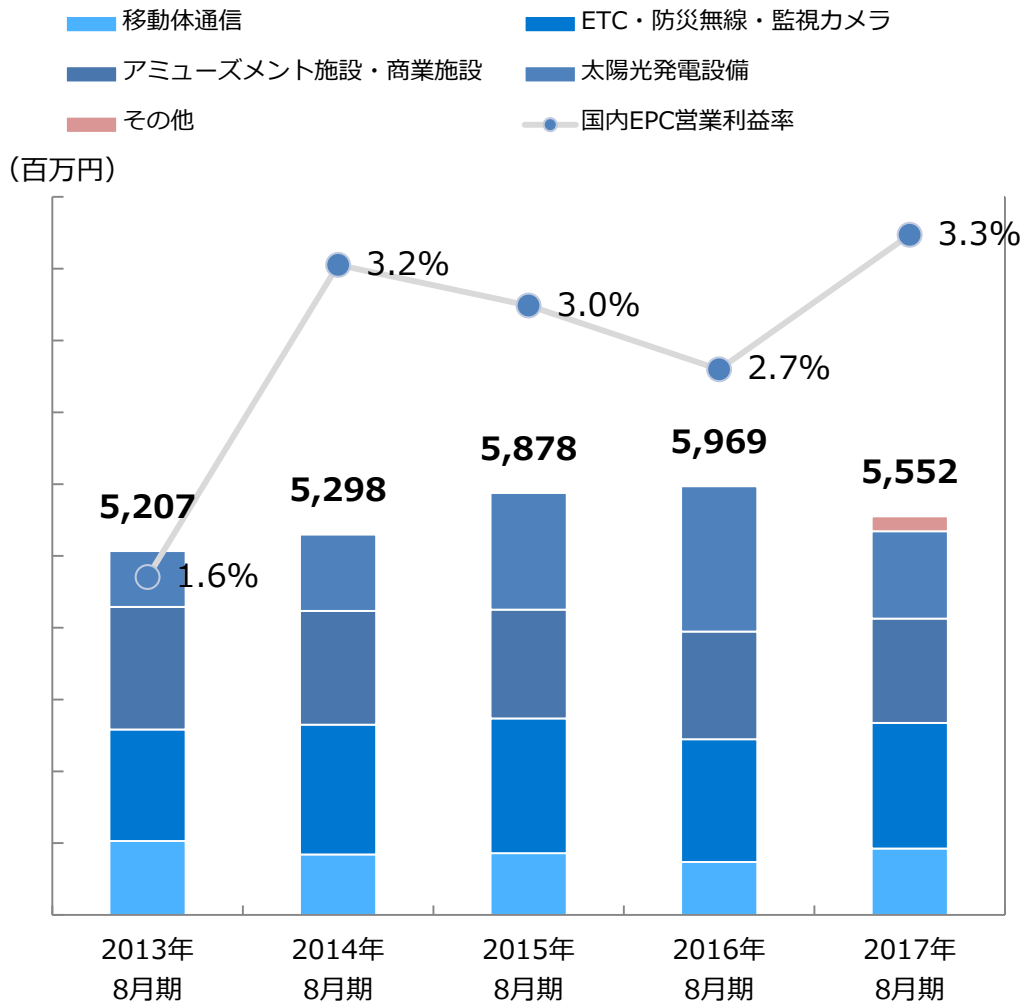
上段：売上高(百万円)、下段：構成比

(注) 数値はセグメント間消去後

## Ⅱ. 事業内容



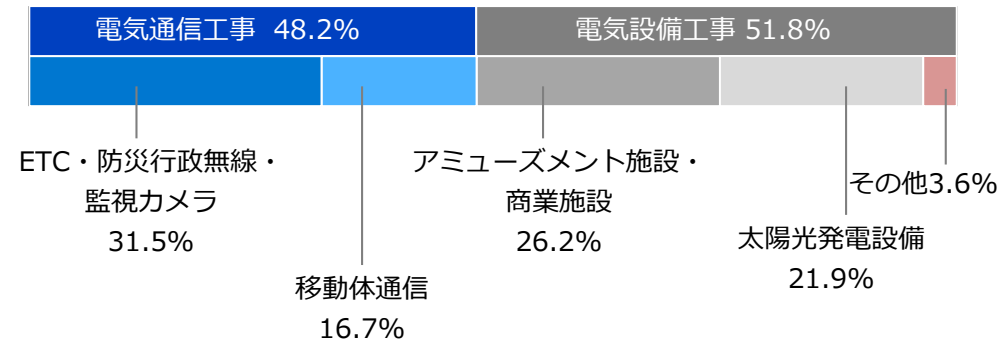
## ◆ 電気設備工事、電気通信工事の多くの分野で豊富な実績を保有



(注) 数値はセグメント間消去前

事業分野	
電気通信工事	ETC
	防災行政無線
	監視カメラ
電気設備工事	移動体通信
	アミューズメント施設
	商業施設
	太陽光発電設備
	その他 (植物工場等)

事業分野別売上構成比 (2017年8月期)





## ◆ 高品質な工事実績が次の受注に結び付く



▲ 高速自動車道ETC設備工事



▲ 防災行政無線工事



▲ 移動体通信工事



▲ 大劇場音響設備工事

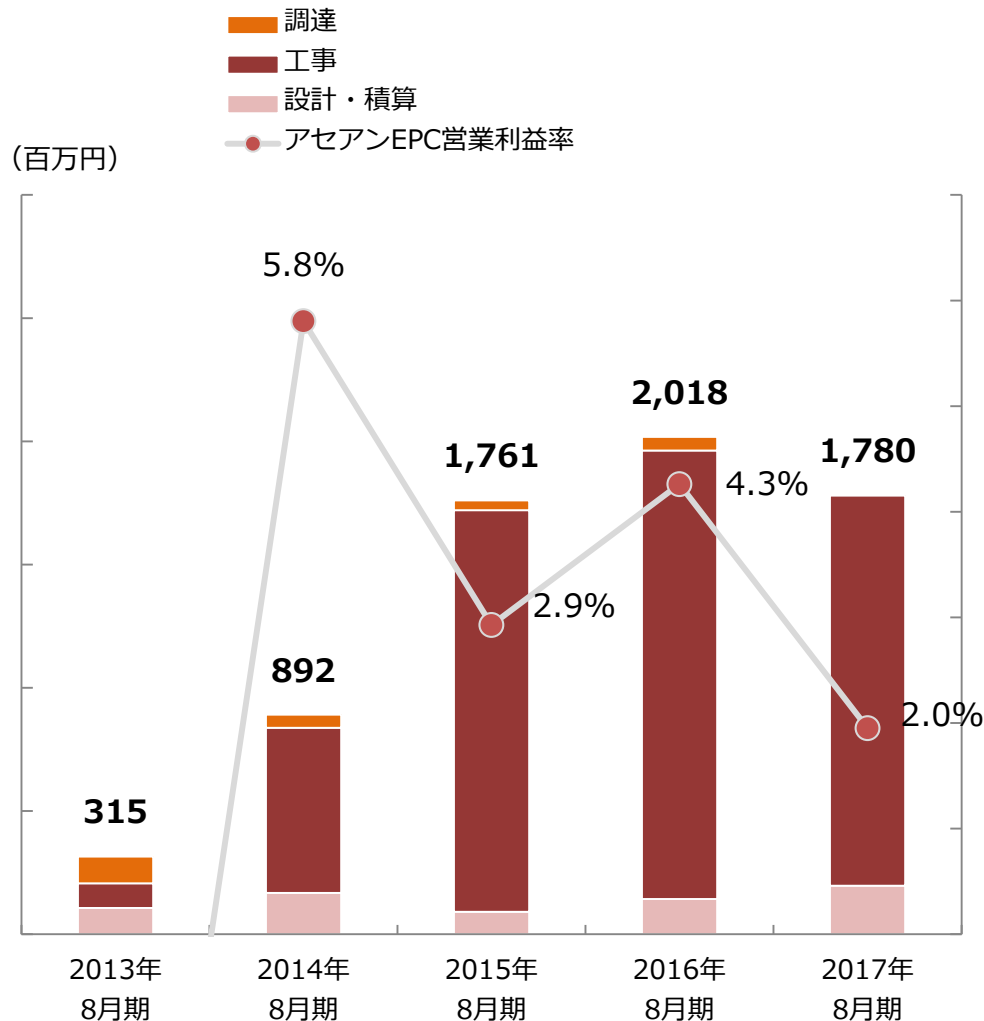


▲ 太陽光発電設備工事



▲ 植物工場電気設備工事

## ◆ 2014年、JHEの連結子会社化により施工能力大幅強化

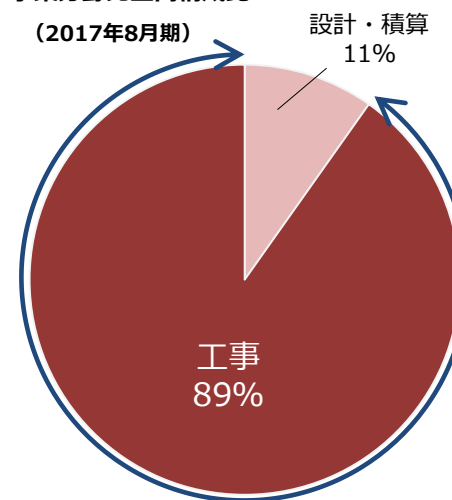


(注) 数値はセグメント間消去前

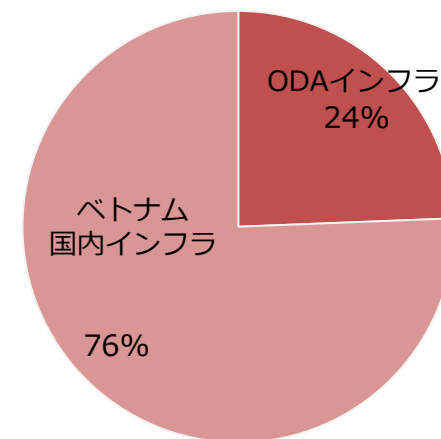
事業分野	
設計・積算	電気・空調・給排水・通信・ 電気計装・機械
工事	電気・空調・給排水・通信・ 電気計装

調達：当期除外

事業分野売上高構成比  
(2017年8月期)



用途別工事売上高構成比  
(2017年8月期)





## ◆ ベトナムで高い知名度、信用と実績を誇るJESCOグループ



▲タンソンニャット国際空港（電気設備工事の施工管理）



▲ノイバイ国際空港第2ターミナルビル（電気設計・施工管理・電気設備工事）



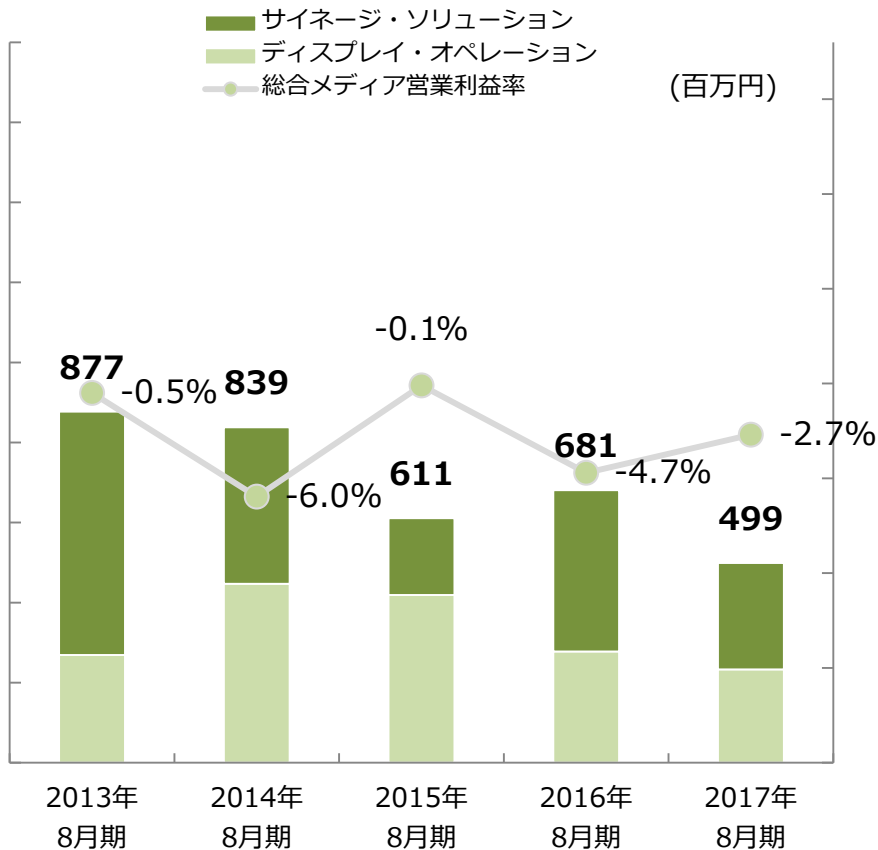
▲ベトナム 南北高速道路 ホーチミン～ゾーザイ間高速道路（ITS工事）



▲リバーゲートレジデンス（電気・空調衛生設備工事）

- ◆ディスプレイ・オペレーションを縮小
- ◆サイネージ・ソリューションに集中

⇒ 2018年8月期から国内EPC事業へ統合



(注) 数値はセグメント間消去前

事業分野	
ディスプレイ・オペレーション	ロードサイドビジョンなどの大型ビジョンの運用・サービス・レンタル・広告
サイネージ・ソリューション	大型ビジョンのシステム企画設計・販売



▲ 平和島LEDビジョン

## Ⅲ. 当社の強み



当社の強み(1) **ワンストップでトータルソリューションを提供**

---



当社の強み(2) **独立系ならではの高稼働率**

---



当社の強み(3) **高度なオペレーション能力でグループの競争力を創出**

---

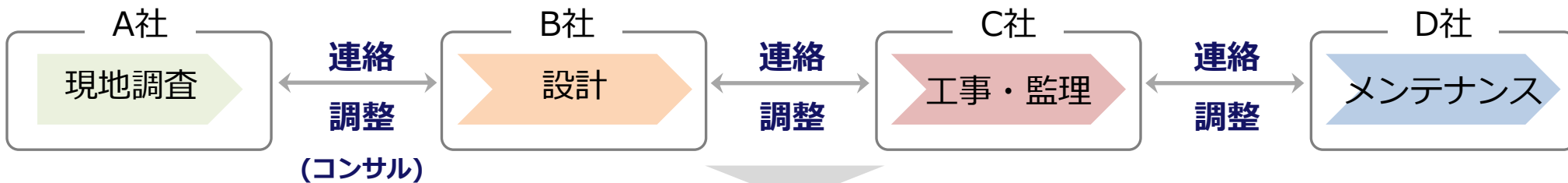


当社の強み(4) **独自のスキームで国内の労働力不足を補完**

---

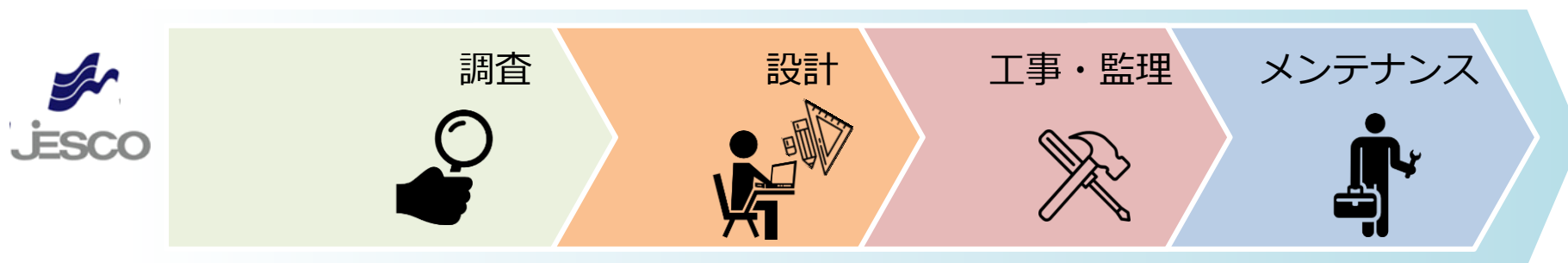
## ◆ 工程間の調整コストが不要。かつ短納期で高品質のソリューションを提供

### 一般的な工程



✕ 高い調整コスト・納期遅延・低品質

### JESCOの工程

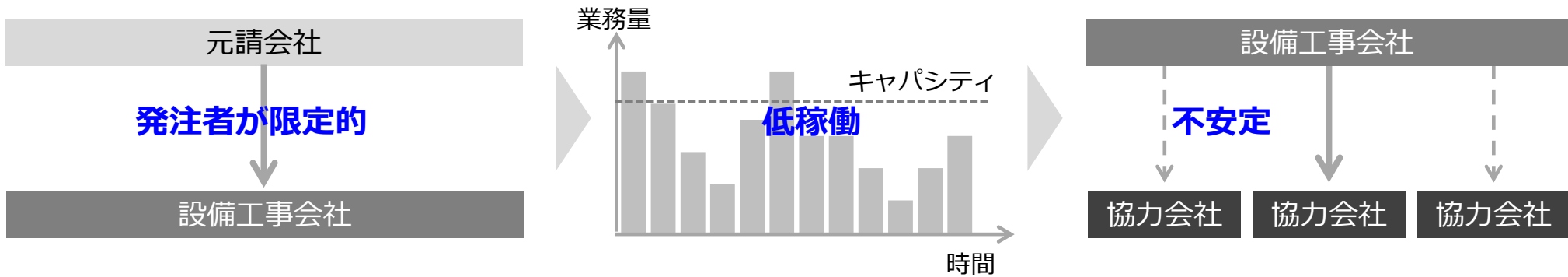


○ 低い調整コスト・短納期・高品質

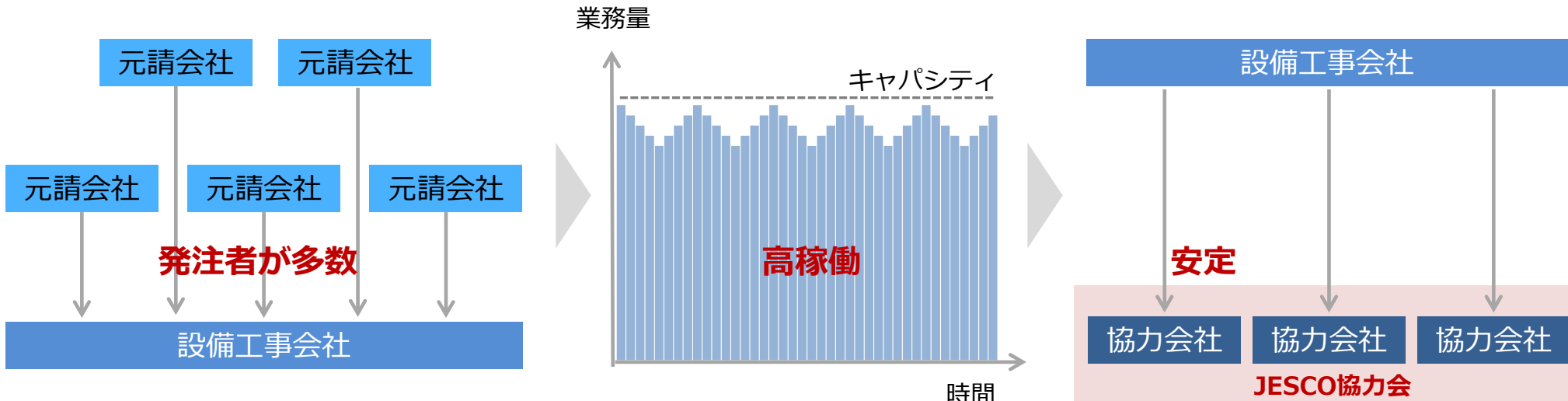


## ◆ 取引先に偏りがなく、高稼働率を維持

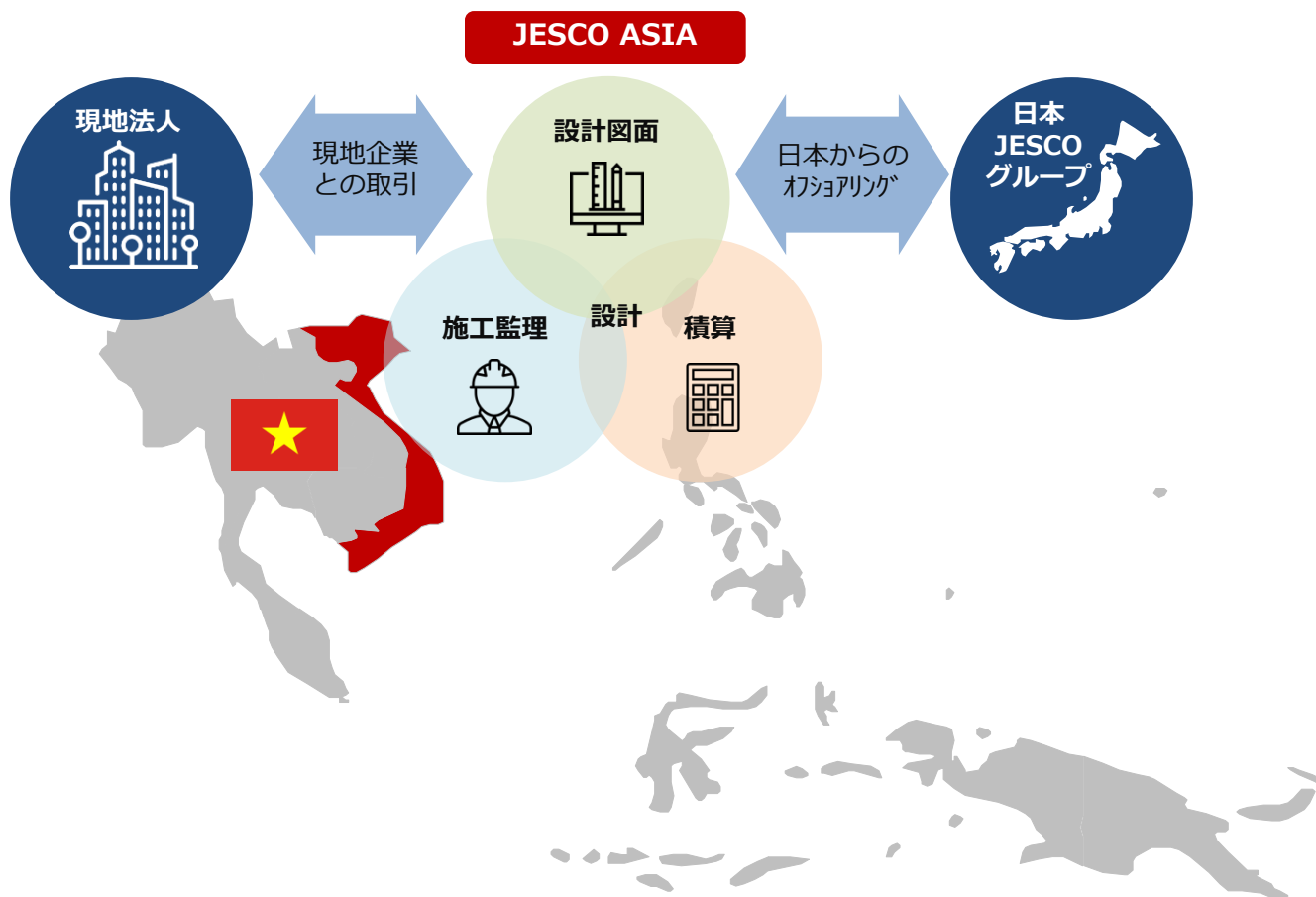
### 大手系列



### JESCO



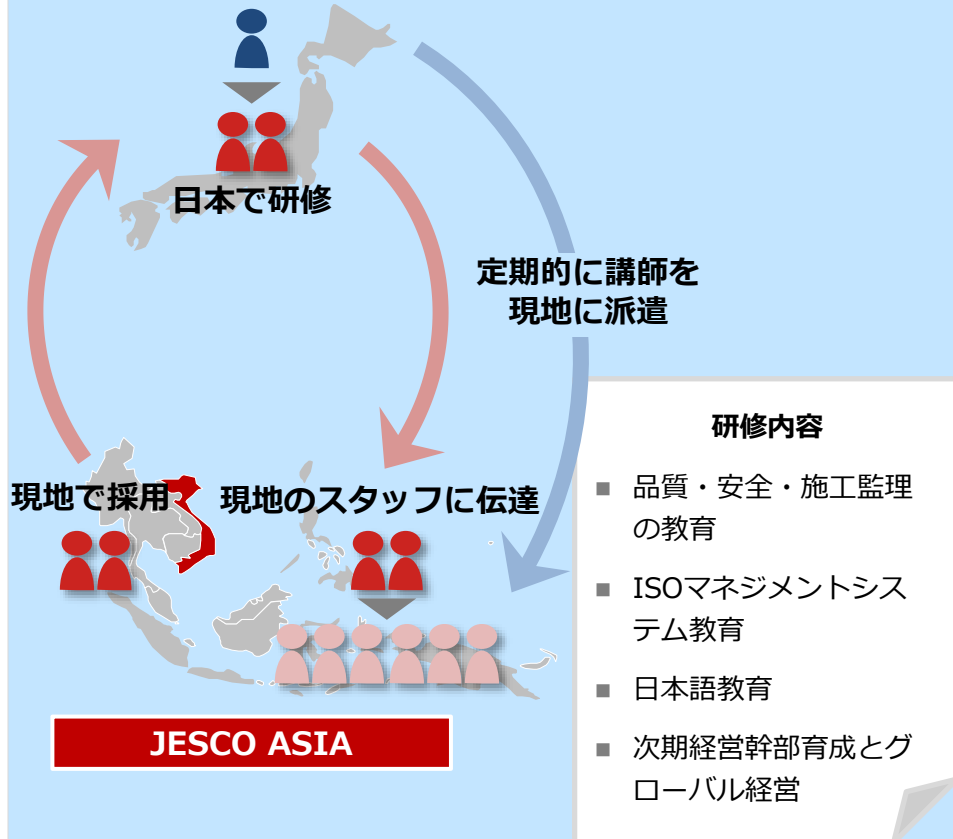
- ◆ 設計データ制作から施工監理まで、高度なオペレーション能力で JESCOグループの競争力を創出



## ◆ 独自の方法で育てた人材を、社内だけでなくアウトソーシングとして活用

### ベトナムの人材を独自のスキームで育成

JESCO本社・日本企業

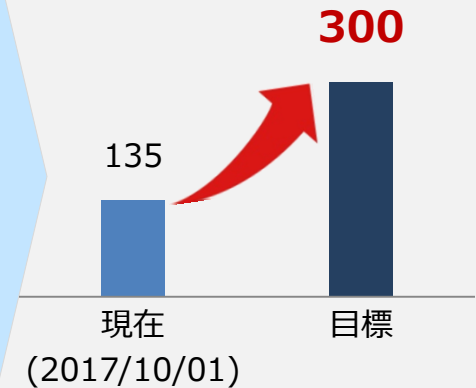


ベトナムの現地スタッフが  
行う主な業務

国内EPC
設計・積算受託
アセアンEPC
設計・積算受託
他社のアウトソーシング支援
国内およびASEAN進出企業 のアウトソーシング
その他
データ入力などの事務作業

**Best Price  
Best Quality  
Best Speed** を実現

設計・積算業務に  
従事する人員を  
早期に300名体制確立へ



# IV. 2017年8月期 決算概要 及び 2018年8月期 計画概要

## ◆ 2017年8月期 実績 (減収、増益、増配)

### 【実績】対前期比

売上高：7,859百万円  
(▲6.6%)

営業利益：275百万円  
(+0.9%)

- ・ 国内EPC事業は大型案件の工期ズレの影響に加え、その他案件の完工ズレなどの要因により減収となったものの、好採算事業の増加と経費削減により前期比微増益を確保
- ・ アセアンEPC事業は好調なベトナム民需案件の着実な工事進行、新規案件の受注獲得など順調に推移した一方、大型ODA案件の発注の遅れの影響により、前期比減収減益

## ◆ 2018年8月期 計画 (増収、増益、増配)

### 【計画】対実績比

売上高：9,800百万円  
(+24.7%)

営業利益：450百万円  
(+63.1%)

- ・ 国内EPC事業は10月2日付で連結子会社化した菅谷電気工事の業績寄与、期ズレとなっていた大型案件の取り込み、その他案件の積上げを図り、前期比二桁増収を計画するが利益も確保
- ・ アセアンEPC事業は、ODAの受注案件の受注注力と旺盛なベトナム民需により売上利益ともに二桁増収増益計画

# 実績) 連結損益計算書の概要

単位：百万円／下段は構成比

	2016年8月期	実績	2017年8月期				
			前期比		計画	計画比	
			増減額	増減率		増減額	達成率
売上高	8,416 (100.0%)	7,859 (100.0%)	▲557	▲6.6%	9,500 (100.0%)	▲1,640	82.7%
売上総利益	1,038 (12.3%)	1,071 (13.6%)	+32	+3.2%	1,213 (12.8%)	▲141	88.3%
販売費及び 一般管理費	764 (9.1%)	795 (10.1%)	+30	+4.0%	713 (7.5%)	+82	111.6%
営業利益	273 (3.2%)	275 (3.5%)	+2	+0.9%	500 (5.3%)	▲224	55.2%
経常利益	273 (3.3%)	247 (3.2%)	▲25	▲9.5%	450 (4.7%)	▲202	55.0%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	247 (2.9%)	117 (1.5%)	▲130	▲52.6%	300 (3.2%)	▲182	39.2%

# 実績) セグメント別状況

売上高は内部消去前 単位：百万円／下段は構成比

	2016年8月期	実績	2017年8月期				
			前期比		計画	計画比	
			増減額	増減率		増減額	達成率
売上高	8,416 (100.0%)	7,859 (100.0%)	▲557	▲6.6%	9,500 (100.0%)	▲1,640	82.7%
国内EPC	5,969 (70.9%)	5,552 (70.6%)	▲417	▲7.0%	7,020 (73.9%)	▲1,467	79.1%
アセアンEPC	2,018 (24.0%)	1,780 (22.7%)	▲238	▲11.8%	2,070 (21.8%)	▲289	86.0%
総合メディア	681 (8.1%)	499 (6.4%)	▲181	▲26.7%	760 (8.0%)	▲260	65.7%
不動産 (CRE)	— (—%)	258 (3.3%)	+258	—	265 (2.8%)	▲6	97.6%
その他	488 (5.8%)	416 (5.3%)	▲72	▲14.8%	486 (5.1%)	▲70	85.6%
調整額	▲741 (▲8.8%)	▲647 (▲8.2%)	+94	—	▲1,101 (▲11.6%)	+453	—

単位：百万円／下段はセグメント売上高利益率

営業利益	273 (3.2%)	275 (3.5%)	+2	+0.9%	500 (5.3%)	▲224	55.2%
国内EPC	158 (2.7%)	184 (3.3%)	+25	+15.9%	262 (3.7%)	▲77	70.2%
アセアンEPC	86 (4.3%)	34 (2.0%)	▲51	▲59.6%	101 (4.8%)	▲66	34.4%
総合メディア	▲32 (▲4.7%)	▲13 (▲2.7%)	+18	—	89 (11.7%)	▲102	—
不動産 (CRE)	— (—%)	77 (29.9%)	+77	—	80 (56.2%)	▲3	96.2%
その他	▲3 (▲0.6%)	▲3 (▲0.7%)	+0	—	47 (▲4.5%)	44	—
調整額	63	▲3	▲67	—	▲79	+76	—



# 実績) 連結貸借対照表の概要

単位：百万円／下段は構成比

	2016年8月期	2017年8月期		
			増減額	主な増減要因
流動資産	4,204 (48.5%)	4,169 (50.4%)	▲34	
固定資産	4,467 (51.5%)	4,095 (49.5%)	▲371	建物及び構築物（純額） ▲118 土地 ▲255
資産合計	8,675 (100.0%)	8,266 (100.0%)	▲408	
流動負債	3,609 (41.6%)	3,718 (45.0%)	+108	支払手形+146、その他+76 短期借入金減-償還予定社債増= ▲121
固定負債	2,733 (31.5%)	2,034 (24.6%)	▲698	社債 ▲468 長期借入金 ▲190
負債合計	6,342 (73.1%)	5,753 (69.6%)	▲589	
純資産合計	2,332 (26.9%)	2,513 (30.4%)	+180	利益剰余金 +67 為替換算調整勘定 +40 非支配株主持分 +43
負債・純資産合計	8,675 (100.0%)	8,266 (100.0%)	▲408	

# 実績) 連結キャッシュ・フロー計算書の概要

単位：百万円

	2016年8月期	2017年8月期	
			主な内容
営業キャッシュ・フロー	▲471	451	税金等調整前当期純利益 218 減価償却費 174
投資キャッシュ・フロー	▲1,653	219	固定資産の売却による収入 359 固定資産の取得による支出 ▲112
財務キャッシュ・フロー	1,898	▲843	短期借入れによる収入 1,189 短期借入金の返済による支出 ▲1,732 長期借入金の返済による支出 ▲224
現金及び現金同等物の換算差額	▲78	33	
現金及び現金同等物の増減額	▲305	▲138	
現金及び現金同等物の期首残高	1,066	761	
現金及び現金同等物の期末残高	761	622	

# 計画) 2018年8月期計画

単位：百万円／下段は構成比

	2017年8月期	計画	2018年8月期	
			前期比	
			増減額	増減率
売上高	7,859 (100.0%)	9,800 (100.0%)	+1,940	+24.7%
売上総利益	1,071 (13.6%)	1,280 (13.1%)	+208	+19.5%
販売費及び一般管理費	795 (10.1%)	830 (8.5%)	+34	+4.3%
営業利益	275 (3.5%)	450 (4.6%)	+174	+63.1%
経常利益	247 (3.2%)	431 (4.4%)	+183	+74.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	117 (1.5%)	250 (2.6%)	+132	+112.7%

# 計画) 2018年8月期計画 (セグメント別)

売上高は内部消去前 単位：百万円/下段は構成比

	2017年8月期	計画	2018年8月期		計画概要
			前期比		
			増減額	増減率	
売上高	7,859 (100.0%)	9,800 (100.0%)	+1,940	+24.7%	
国内EPC	5,552 (70.6%)	8,150 (83.2%)	+2,597	+46.8%	
アセアンEPC	1,780 (22.7%)	2,230 (22.8%)	+449	+25.3%	
総合メディア	499 (6.4%)	—	—	—	国内EPCと統合
不動産 (CRE)	258 (3.3%)	266 (2.7%)	+7	+2.8%	
その他	416 (5.3%)	481 (4.9%)	+65	+15.6%	
調整額	▲647 (▲8.2%)	▲1,327 (▲13.6%)	▲680	—	

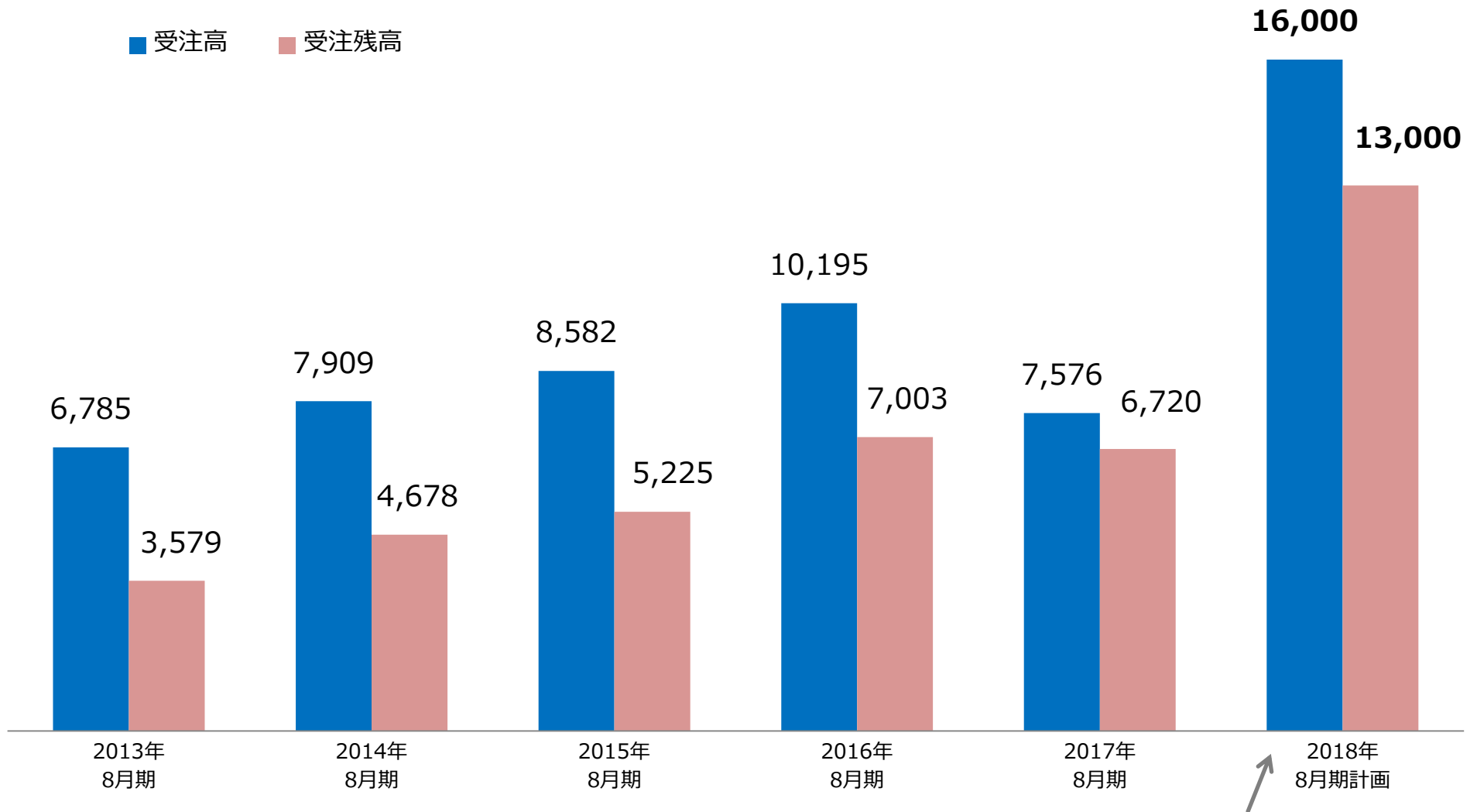
単位：百万円/下段はセグメント売上高利益率

営業利益	275 (3.5%)	450 (4.6%)	+174	+63.0%	
国内EPC	184 (3.3%)	303 (3.7%)	+119	+64.9%	
アセアンEPC	34 (2.0%)	104 (4.7%)	+69	+199.4%	
総合メディア	▲13 (▲2.7%)	—	—	—	国内EPCと統合
不動産 (CRE)	77 (29.9%)	152 (57.1%)	+74	+96.7%	
その他	▲3 (▲0.7%)	▲9 (▲2%)	▲6	—	
調整額	▲3	▲99 (-%)	▲96	—	

# 見込み) 受注高・受注残高計画

単位：百万円

■ 受注高 ■ 受注残高



菅谷電気工事売上計画考慮後 (13億円)

# V. 成長戦略

## 重点施策 国内事業深耕による安定成長：アセアン事業拡大の加速

### グループ連結業績計画

49期（2018年8月期）

51期（2020年8月期）

売上高

9,800百万円

13,000百万円

49期比 +33%

営業利益

450百万円

670百万円

49期比 +49%

### アセアンEPC事業売上高計画

49期（2018年8月期）

51期（2020年8月期）

売上高

2,230百万円

4,300百万円

49期比 +93%

海外売上  
構成比

23%

33%

## 事業拡大施策向上

□ーリング方式採用；%四捨五入

日本

国内事業戦略：国内外の新規市場開拓

～Keyword: 新市場×新技術～

I 国内事業の深耕による安定成長

II 菅谷電気工事との業務シナジー

アセアン

アセアン事業戦略：大型案件受注対応

～Keyword: 海外拠点計画 — 地域拡大と得意事業へ～

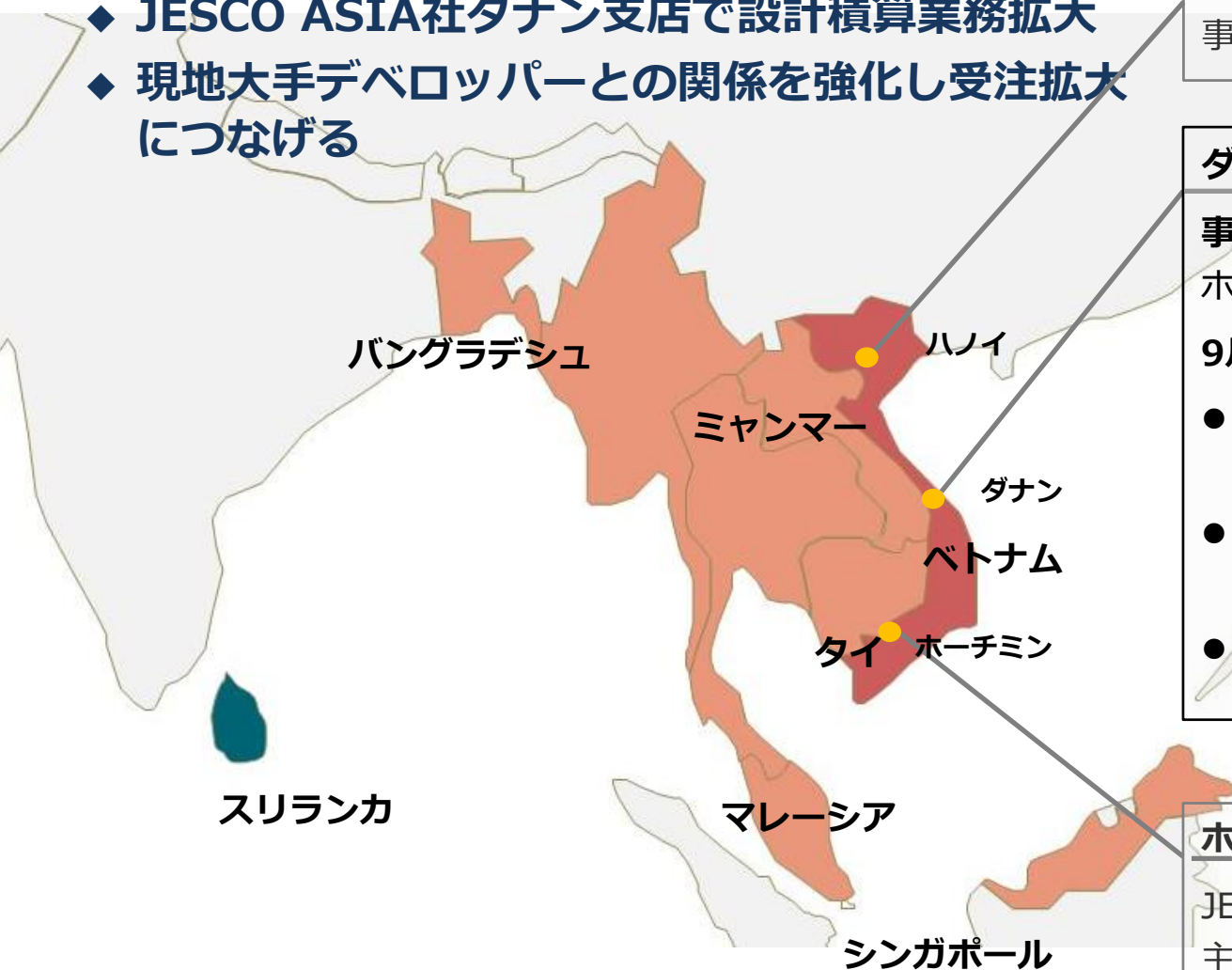
I ベトナム拠点の事業拡大

II アセアン各国への拠点進出

III アジア市場×得意技術



- ◆ ハノイ拠点強化による事業拡大
- ◆ JESCO ASIA社ダナン支店で設計積算業務拡大
- ◆ 現地大手デベロッパーとの関係を強化し受注拡大につなげる



## ハノイ

事業拡大のためハノイ人員拡充

## ダナン

**事業環境：**豊富な人材に恵まれ、ハノイとホーチミンの間に位置する。

### 9月28日 JESCO ASIA ダナン支店開設

- ダナン工科大学学長と10年以上にわたる親交、大学から有能な技術者を採用予定
- 設計積算業務へのニーズに対応し技術者確保の拠点とする
- 早期に50名体制を実現

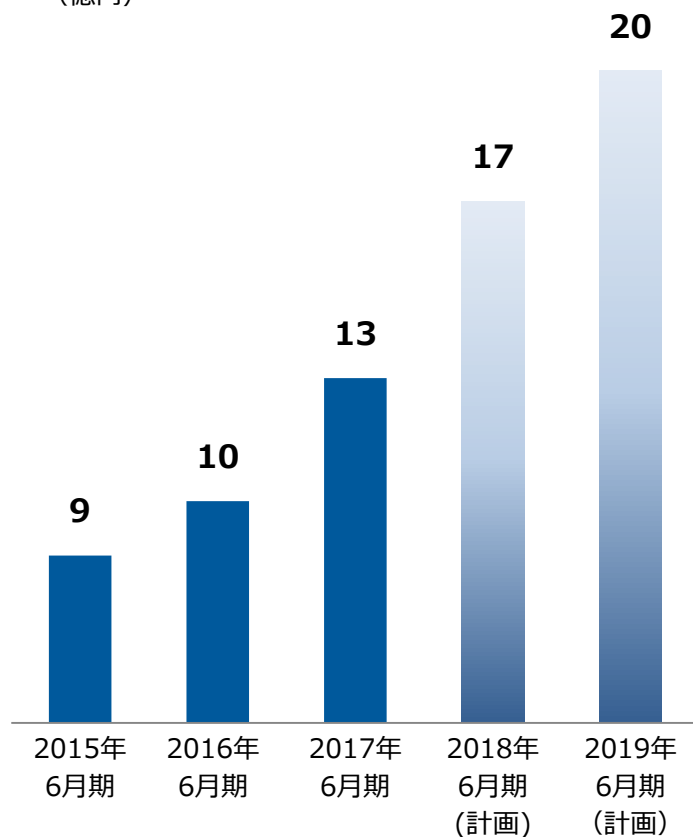
## ホーチミン

JESCOグループのベトナム初の拠点。JHEの主な事業展開エリア。

## ◆ ベトナム大手デベロッパーからの直接受注が増加

### JHEの売上高推移

(億円)



### 直近のJHEの大型受注案件

#### 1) サンライズ シティ ビュー新築工事



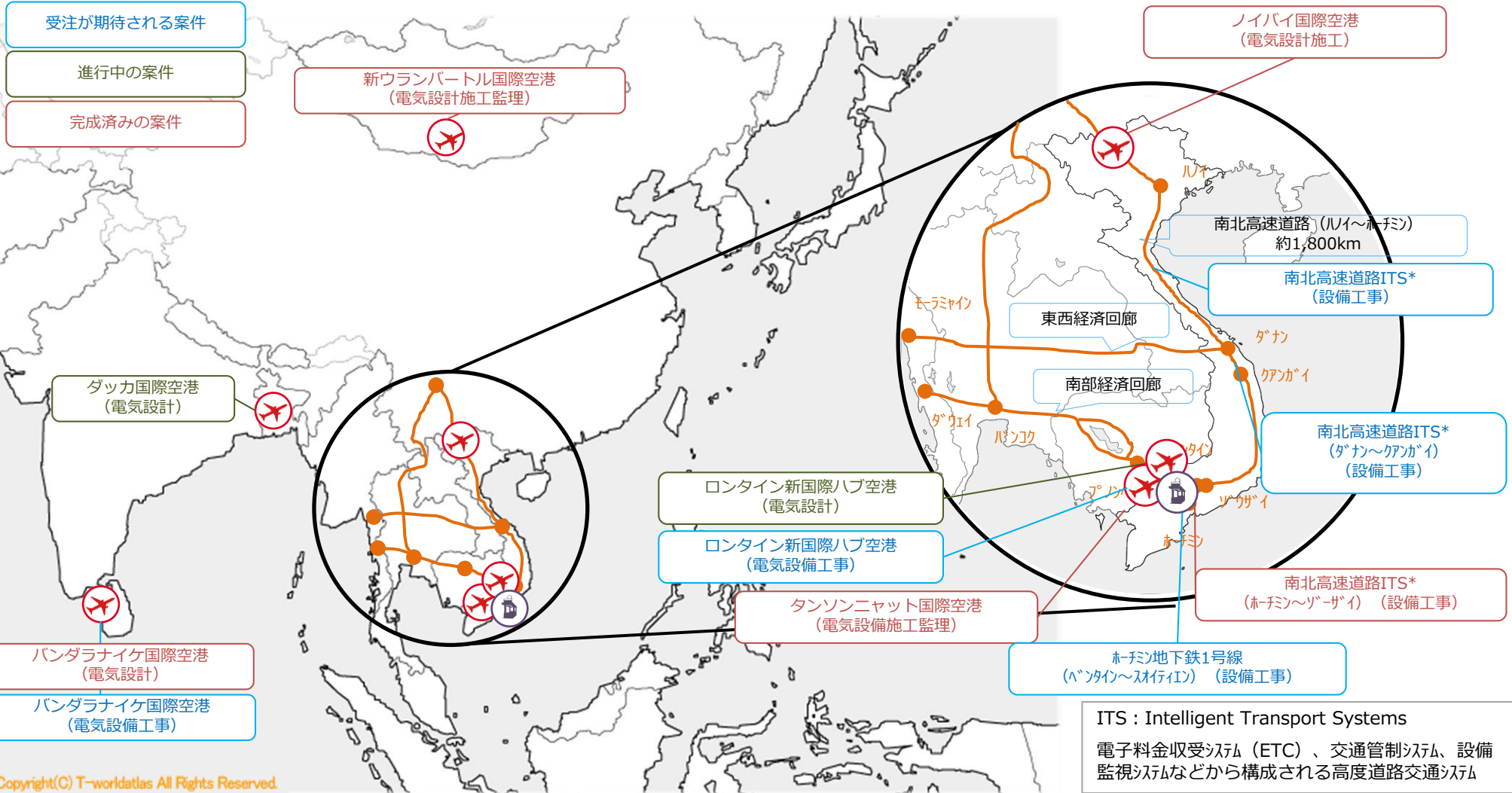
受注先	: NHAT HOA REAL ESTATE JSC (NOVALAND GROUP)
工事場所	: ベトナム国ホーチミン市
工期	: 2017年7月～2018年12月
受注金額	: 1,590億VND (約7.6億円)

#### 2) セレニティ スカイ ビラ新築工事



受注先	: HOA BINH CONSTRUCTION GROUP JSC
工事場所	: ベトナム国ホーチミン市
工期	: 2017年10月～2019年2月
受注金額	: 764億VND (約3.7億円)

## ◆ 空港・地下鉄・ITS等、得意領域のプロジェクトで現地顧客向け受注を拡大



Copyright(C) T-worldatlas All Rights Reserved.



- ◆ 10月2日、菅谷電気工事の子会社化
- ◆ 昭和25年創業；豊富な施工経験と有資格者



前橋本社



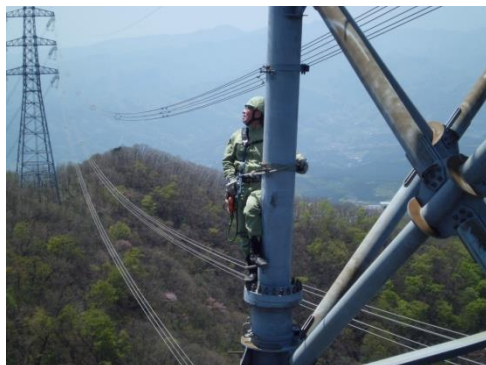
前橋支社

## JESCO CNSと菅谷とのシナジー効果

- 北関東エリアでの受注強化
- 高圧受変電・送電事業の強化
- 既存事業に加え官公庁、電力会社から受注拡大
- 相互人材活用による受注拡大

## 菅谷電気工事株式会社

所在地	群馬県前橋市
事業計画	売上高：13億円（前年比約19%増） （2018年8月期計画）
設立	1969年7月 [創業1950年、昭和25年]



▲送電線架線作業



▲発電所作業

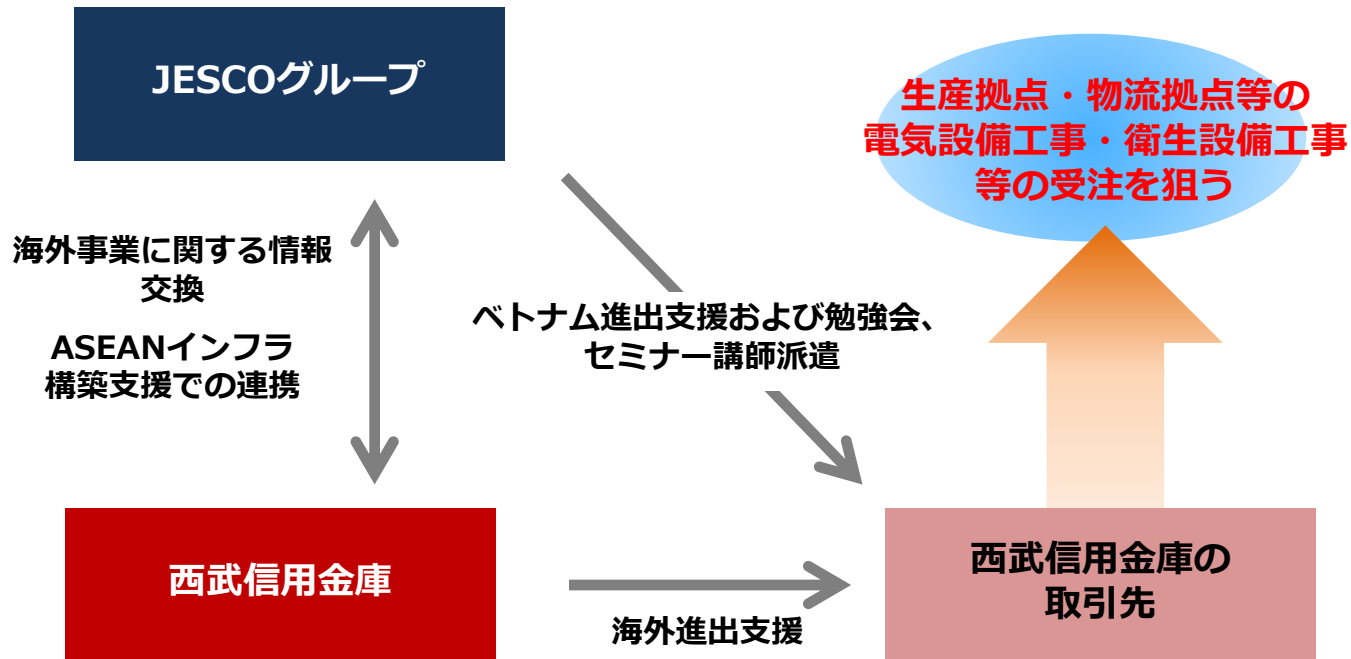


▲鉄塔組立作業



▲送電線架線作業

- ◆ 西武信用金庫との提携による狙い
  - ◆ 日本の中小企業向けベトナム進出支援
  - ◆ ベトナムでのオフィス・工場建設などの支援



- 本資料はJESCOホールディングス株式会社（以下、当社）の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料には当社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。
- また、経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

JESCOホールディングス株式会社 戦略経営企画室 広報・IR部  
TEL : 03-5937-6151 / E-mail : jesco-ir@jesco.co.jp